

次世代産業部

これまでの支援事業の成果報告

開発支援補助金

健康・医療分野

1 支援の内容

(1) 支援企業名

株式会社ズー(上田市)

(2) 支援した開発テーマ名

リハビリテーション支援システムの開発

(3) 活用した支援メニュー

令和5年度医療機器開発等補助金(技術開発補助金)

(4) 支援の経緯

心臓リハビリは、家庭や社会生活への復帰、再発防止を目的に病院内で自転車漕ぎ運動による体力回復を半年から1年継続されます。しかし、運動が単調なため、多くの患者が途中でやめてしまう問題があり、患者が楽しく継続できる新たな仕組みが必要とされていました。このような現場からニーズに対し、当機構では、医工連携マッチング支援から始まり、アプリ開発、臨床研究まで総合的に伴走支援しました。

2 支援企業の概要

企 業 名	株式会社ズー
所 在 地	長野県上田市下之郷字浅間原813-12
代 表 者	代表取締役社長 藤井 修亮
創 業	昭和61年(1986年)4月8日
資 本 金	4,000万円
従 業 員 数	80名
事 業 内 容	調剤薬局向け業務支援システムの開発、販売、サポート PCゲーム・ソーシャルゲームの開発、運営、サポート
そ の 他	異分野の事業を柱とするユニークな企業で、近年はこれらを融合した新製品開発にも積極的に取り組んでいる。

3 支援事業（技術開発補助金）の内容

(1) 技術開発補助金の名称

令和5年度医療機器開発等補助金

(2) 募集期間

令和5年4月28日から令和5年5月31日

(3) 補助率及び補助限度額

補助率：2分の1以内、補助限度額1,000万円

(4) 開発テーマ名

リハビリテーション支援システムの開発

(5) 補助事業による開発の期間

令和5年6月15日(交付決定日)～令和6年2月29日(事業完了日)

4 開発の内容

(1) 背景

丸の内病院(松本市)の臨床工学技士から、長野県臨床工学技士会を通じて、当機構と信州大学に対して臓リハビリテーション現場ニーズに関わる相談があった。

当機構では、医工連携マッチング支援を行い、医療事業とゲーム事業を展開する(株)ズーを選定した。

(2) 課題

心臓リハビリは、家庭や社会生活への復帰、再発防止を目的に病院内で自転車漕ぎ運動による体力回復を半年から1年継続される。

しかし、運動が単調なため、多くの患者が途中でやめてしまう問題があり、患者が楽しく継続できる新たな仕組みが課題であった。

(3) 今回の補助事業による開発内容

- ✓ 自転車漕ぎ運動に「麻雀」や「ソリティア」といったゲームを融合
- ✓ 処方された運動強度を守りながら楽しめる

5 成果

(1) 補助金の活用内容

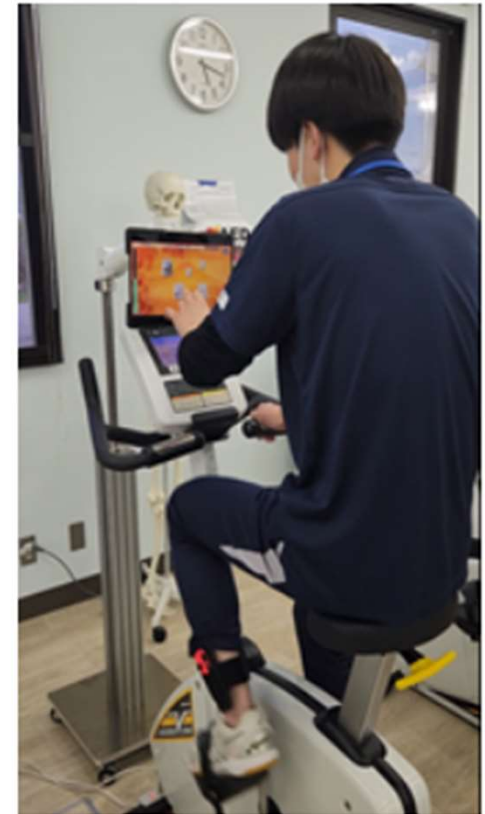
開発担当者の人件費、開発資材、特許出願に関わる費用

(2) 開発成果

丸の内病院における臨床研究では、退屈感が軽減され、興味が喚起されることでリハビリを継続しやすくなる効果が確認された。

6 補助事業完了後の計画

- ✓ 令和7年1月に県プレスリリースを実施
- ✓ 令和7年2月に県庁で記者会見を実施
- ✓ 令和8年度の市場投入を目指す



【支援システム】